

第3期ふじみ野市地域福祉活動計画（案）パブリックコメント募集結果について

■提出期間

令和5年12月25日～令和6年1月15日の22日間

■意見の募集結果

提出者数 1名 提出件数 1件

■意見の内容

初めまして、私はふじみ野市に住まいする66歳男性であります。
市民後見人の講習を修了致し、更に、講習介護予防サポーターにも登録させて頂きました。

又、私も"まだまだ若い"と思いつつも・・・今年7月では67歳となります。
70歳という"人生の一区切り"と申し上げても良い人生の分岐点に差し掛かると思われます。私が高齢者の範疇の故か？高齢者施策の提言と致したい。

其れ故に下記の通りのこれからの人生の過ごし方を申上げて、意見具申と致したいと存じます。此れで宜しいものか否かは分かりません。

先日、ふじみ野市の或る有料老人施設を訪問させて頂ける機会を得ました。
率直なる意見を申し上げると、この様な施設には入れる方は"ほんの一握り"の恵まれた方が、安心して老後を過ごす処と・・・、率直なる意見を申し上げます。
その理由として、①老後資金が想像以上に必要となる②抑々、老後資金が有っても、入居できる施設自体そのものが少ない様に感ぜられる2点が大まかに言って非常に私自体も含め多くの者が老後を鑑みると心細い様に感ぜられるのではないかと強い感を得ました。

詳しく感想を延ばさせて頂きくと、老後資金については、私も嘗て一部上場企業に長年勤務、其れなりの貯蓄を致して居りますが、男性の平均寿命を80歳と鑑みると"あと13年"はあるという事と相成ります。年金と長年の貯蓄のみで、
今後の長い人生を賄えるだけの元手資金となるかと？と問いたい。

勿論、其れで・・・今後の我人生の終焉迄、賄わなければならない事は理解致しますが、行政（又は？国家か？）の施策も必ず必要なものと鑑みます。住民に安心安全を与えるのも地方自治の役割かと存じます。決して、行政に甘えて全てをお任せという事では有りません。今の世、自己責任です。自分で用意できるものは用意致します。然し、個人によっては足りないものが・・・、どうしても出てきます。

その様な個人では賄えない事への援助をお願いする次第で御座います。

高齢者施策は"若い人から見れば無駄だ！子育て施策こそ必要だとお考えかも知れませんが、此処で

再度立ち止まり、今？本来の意味において、本当に必要な物は何かをお考え願いたい。

私は、種々の理由が有りマンションに独り住まい致して居ります。

マンションは持ち家ではありますが、管理費及び積立修繕金も時流に合わせ、年々上昇しているというのは・・・厳然たる事実であります。

月々の支出額は年金額を月に平均5万円程度はオーバーするという位「昨今の物価」状況では有りませんか？私が身の丈に合わない贅沢な暮らしを致しては居りません。然も！政府は「貯蓄を投資」をとしきりに推奨します。私も一部は自己の責任の下「安全と思えるもの」への投資は手持ち資金の一部を致して居りますが、此れで本当に自分の老後の蓄えを増えせる物とは全く以て思えないというのが現実であります。多くのお金持ちは満足しているでしょう！而して、普通の所得（年金等）では、将来は益々不安となるというのが現実とお考え願いたいと強く申し上げます。此の理由としては多岐に亘りますが、本件とは無関係の為に敢えて申し上げます。然し、ふじみ野市の65歳以上の一般の高齢者の多くの者が、甚だしく感じているものと強く推測致します。

次に、独居の高齢者の入院・高齢者施設への入居に際しての「保証人」の問題を少し述べさせて頂きたい。

人間は・・・齢を重ねれば重ねる程に「罹病する可能性は高くなりませんか？」と至極素朴ともいえる質問をお許してください。

勿論、独居であっても・・・、例え遠方であったとしても「頼る親族の存在」が有れば、大きな問題には発展しないのかも知れまいと推測します。而して、全くの親族も存在せず、又は、その親族が関わりを拒否して仕舞ったら？との場合は・・・現在、ふじみ野市では何も施策はないものと勘違いする人が多いと存じます。

以前・・・、福祉部高齢福祉課に電話を差し上げたところ、相談は出来るが、今できる事といったら、「任意後見人」そして、将来能力に問題がでれば成年後見人を付ける事を勧めますという至極？高齢者には冷たいご回答しか得られないと云うのが現実では有りませんか？？而して、能力に問題の起きた時に成年後見人の手続きの詳細を予め熟知して、居られる方がふじみ野市に如何程存在しますか？と問いたい。況や、就中、任意後見人を付けると際のその手続きの複雑さやその費用の高額となる事を承知して居られる方は如何程でしょうか？

今現在・・・、独居であり、頼る親族が居ない、又は、頼れないという高齢者が！

ふじみ野市に如何程いるかを真剣に調査されて居られますかと問いたい。

恐らくどの部署においても「凡そはつかんで居られる」ものと推測しますが、今後、2030問題、2040問題を目前に控えているのではありませんか？

その時に、今迄は・・・特殊の問題と捉えられていると存じますが、ご調査を頂ければ、その実態の多さに驚かれるものと大いに推測致します。

斯く云う・・・私が、現在、自己所有のマンションに独居しており、唯一の親戚である”亡き姉の子供達（姪二人）からは・・・断絶という憂き目にあっております。
この様な境遇は私一人で有りますかと・・・真剣に検討願いたいと存じます」。

既述の通り、私は”市民後見人“の講習修了者でありますから、本職では有りませんが、後見人の仕組みを学習させて頂く幸運に浴しました。
而して、広く、その情報が市民全体に知れ渡っていますかと問いたい。
我々！講習を修了して人間がその任に当たり、積極的に公の機関に繋ぐという事をすべきとは”肝に銘じて居ります。“而して、公の機関からの情報は出ていますかと問いたい。其れが広くゆき亘っていないという事を如何にお考えですか？

知れ渡っていても・・・、その手続きの煩雑さ、特に任意後見人の受任をお願いできる”弁護士、司法書士、行政書士、社会福祉士”等々の公の資格者がなかなか見つからず、又、幸運にも見つかったとしても、その費用は”期間が長くなればなるほど多額の者が必要になる”という事が、大きな障害と為る物ではないかと愚考致します。今のシステムは”お金がものを云う”というものではないかと思ってしまう側面があると云わざるを得ません。お金のあるなしに関係なく、人間の老いは来るものと肝に銘じて、システムの修正を強く願うものであります。

精神に傷害が有れば、西暦2000年以降の法改正で多くのコンビニエンスは用意されている事を今後、大いに、そのシステムを広く市民に告知すべしと思います。

資金に余裕のあるかたは、自己の力でより良い環境で終活をする事ができ、更に終の棲家も見つける事が出来るでしょう。
而して、資金はある程度必要な物は用意しているが、今後の物価高騰を鑑みると不安を感じられる者、更には、生活の為に体の続く限りは働く覚悟した者等々と市民には、個々人、一人一人の事情は異なります。
そのニーズに合わせた個別の施策は必要かと思慮致します。

又、別の局面から見ても・・・、今後、益々、独居の高齢者は増えるものと想定は出来ませんか？そうになると・・・高齢者となり、体の不調を訴えて”病院への入院に際しての保証人”が存在しない故に治療も不可能となる事も想定されます。
更には、種々の高齢者施設（有料老人施設は勿論、特別老人養護施設、グループホーム等々）への入居せざるを得ない上でも、”保証人がいない”と云う事実の事のみで入居できないという事の想定は不要とお考えでありますかと問いたい。

其の様な高齢者は”特殊で有り”、当ふじみ野新市民は皆”裕福で有り“、”保証人“も何時でも用意しているとご認識でられますか？と問いたい。

其の様な為にも、以下のご提案を致したい。

個人の資産状況に合わせた保証金は個々人の資産状況により必要な事があるにせよ、ふじみ野市が市民という資格の元に " 入院或いは入所の際の保証人 " となる制度の創出を是非ともご検討を願いたい。